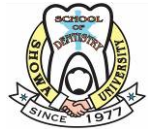




発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

9月上旬に韓国(釜山)で国際デジタル歯科学会が開催され、日本デジタル歯科学会の代表として、本学のIT・デジタル機器を活用した教育を以下のように紹介してきました。多くの先生方から資料の提供をいただき、ありがとうございました。



本学では、初年次の学部連携PBLや体験実習から始まり、上級学年まで継続して、学部連携実習、地域医療連携実習などのチーム医療教育に力をいれています。学生は自ら課題をもって実習に臨み、グループ討論や情報検索を通じて学んだことを電子ポートフォリオに記録し、教員はファシリテータとして、電子ポートフォリオ上で学生の能動的学習を支援します。

歯科医療は従来からの保存・補綴系治療に加えて、口腔機能の管理・リハビリテーション、さらには、入院患者への医療支援や、施設・在宅生活者の健康維持に貢献することが求められています。このような変化に対応するために、本学では多様な病態を有する仮想患者(VP)を利用して、学生が医療コミュニケーション、検査、診断、治療計画にいたる臨床推論を自己学習するシステムを導入しています。

本学学生は、基礎実習で口腔内スキャナーの取り扱いやCAD/CAM修復法を学び、臨床実習で最新のデジタル歯科を体験します。学生は診療室でiPadを利用して、モデルコアの水準表と本学のコンピテンシーに基づいて診療参加型臨床実習内容を電子ポートフォリオに記録します。

現在は患者中心の安全な医療実践が最優先です。歯科医療はバイタルで患者に開口してもらい、目の前で麻酔をし、高速回転工具で歯の処置をします。このような患者にストレスがかかる処置を安全に実施するために、本学ではヒューマノイド患者ロボットを利用したトレーニングを行っています。

このように本学では他大学に先駆けて、デジタル機器を活用した教育を推進し、確実に成果が出ていると実感しています。

一方、最近の医療福祉領域へのロボットの活用には目覚ましいものがあります。手術支援ロボット(代表 Da Vinci)はすでに2012年から保険適用になってい

ます。また、今年の4月からはロボットスーツが、患者の歩行機能を改善するロボット治療機器として、初の保険適用対象となりました。このほかに多くの種類のロボットが看護業務や介護業務の支援に期待されています。

これまで我が国は高い技術開発力を有しながら、医療機器産業では欧米の後塵を拝していました。歯科医療は口腔内の感覚が非常にデリケートであることに加えて、手作業で精巧な義歯を提供してきた実績があるので、新しい医療機器の導入が遅れていました。今後、高齢者の口腔機能リハビリに、新しい発想のロボット治療機器の開発が夢です。本学は先陣をきって教育・診療へデジタル技術の応用を進めていきましょう。

富士吉田オープンキャンパスが開催されました

入学支援課 水庭 隆史

平成28年8月27日(土)富士吉田キャンパスにおいて受験者を対象としたオープンキャンパスが開催されました。このオープンキャンパスは、本学の特色



である1年次全寮制生活を、実際に見ることのできる絶好の機会であり、全国各地から4学部併せて119組240名という多くの方が参加しました。当日、参加者は、旗の台と横浜の両キャンパスから手配したバスで、富士吉田に向かいました。現地では小出学長や富士吉田教育部田中教授、在学生による全体説明会をはじめ、寮見学ツアー、馬場などの施設見学、教員・学生との個別相談会、食堂での昼食体験が行われました。昼食体験では、カレーが振る舞われ、「とてもおいしく、食堂の雰囲気もよかったです」との声がありました。参加者は富士吉田キャンパスでの生活を実際に見て聞いて体験することができ、「ますます昭和大学で学びたい気持ちになりました」との感想も聞こえてきました。夏休み最後の土曜日だったため、交通渋滞に巻き込まれてしまいましたが、大きなトラブルもなく、大変実りあるオープンキャンパスとなりました。次回は、10月8日(土)に旗ヶ岡祭と同日で4学部合同入試説明会を開催いたします。

モンゴルの歯学部と調印式を行いました

口腔ケアセンター長 弘中 祥司

昭和大学口腔ケアセンター研修プログラムに応募してきましたモンゴル国立医学科学大学(MN UMS)の歯科医師2名は、3か月間のプログラムを修了し、無事に帰国の途につきました。



これまでも歯学部はMNUMSの前身の大学と調印を行っていましたが、今回の研修を受けて新たに8月18日に調印を行いました。本来なら、宮崎歯学部長が出向くところですが、口腔ケアセンターのプログラムを担当していることもあり、また9月からの新たな研修生との面談も兼ねて代理で出席させていただきました。写真左の女性がアリユンチュル歯学部長で、写真中央が前歯学部長・元副学長のアマール先生です。モンゴルは親日国でも知られており、ASEMで安倍総理が晩餐会で招かれた部屋で食事をする機会に恵まれました。

日本のODAによって、日本-モンゴル友好医科歯科教育病院が建設中の現在(2018年完成予定)、医療連携や多職種連携・地域医療も話題となっております。そんなモンゴルの医療界の中で、本学のチーム医療の理念が取り上げられたことを嬉しく思っております。昭和大学の掲げている国際化の一つとして、モンゴルとの交流がなお一層発展しますようにこれからも尽力したいと思います。

マダガスカル口唇口蓋裂医療協力結団式が行われました

歯学部長 宮崎 隆

平成28年度昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力結団式が、去る9月6日(火)午後6時半から、1号館5階会議室で、笹川記念保健協力財団の紀伊國会長と喜多理事長を来賓に迎えて、厳粛に開催されました。早いもので今年で6回目の派遣になります。

校歌斉唱に引き続き、小口理事長から、本事業を通じて本学が世界に貢献できることに感謝すると挨拶がありました。小出学長からは現地の子供たちを一人でも多く救ってきたいとの挨拶がありました。笹川記念保健協力財団の紀伊國会長からは、石館守三先生(東大の初代薬学部長)によるハンセン病治療薬合成に関する興味深いお話に加えて、参加学生への期待が述べられました。

団長の土佐先生からメンバー(形成外科医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、学生、事務総勢16名)

の紹介があり、昭和大学宣言をして終了しました。

昨年からは矯正科の歯科医師が参加していますが、今年は現地の歯科大学との交渉の任務を受けて、中納准教授が参加します。学生は5年生の松田 彩さんです。体調管理に気をつけて成果をあげて無事に帰国することを祈念いたします。

第15回警察歯科医会全国大会に参加しました

—歯科医師による身元確認調査について—

口腔リハビリテーション医学部門 高橋 浩二

日本歯科医師会が主催する警察歯科医会全国大会に参加しました。今年は岐阜県歯科医師会の主管で長良川のほとりの岐阜グランドホテルで執り行われ、大会テーマは「警察歯科医が身元確認を再認識するために」



で、「ジャーナリストが見た遺族にとっての身元確認とは!」という特別講演や「大規模災害 支援と連携の在り方を探る～災害時により良い連携をとるための提案～」というテーマでシンポジウムが行われました。

私は5年前から参加していますが、毎年全国津々浦々の歯科医師会から500名を越える参加者が大会場に集結し、熱心に討議が行われています。本学には法歯学教室がないため、歯科による身元確認についての意識がやや低いような気がします。

マグニチュード7クラスの首都直下地震が、今後30年以内に発生する確率は70%程度と予測されており、内閣府は約1万1000人の死者数が想定されると正式発表しています。この首都直下地震が発生したならば、本学が位置する城南地区は地震による直接被害に加え、火災や高潮の二次災害による甚大な被害が起こりうることに危惧されています。私たちは歯科医師による身元確認調査の重要性、必然性を常に心に留め、備えておかなければならないと思います。



PBLシナリオ作成ワークショップに参加しました

口腔リハビリテーション医学部門 横山 薫

8月25日(木)、26日(金)に富士吉田校舎にてPBLファシリテーター養成・シナリオ作成ワークショップが開催されました。シナリオ作成チームは2班に分かれ、昨年度から実施開始となった在宅チーム医療教育(3年次の高齢者コミュニケーション演習、4年次の学部連携PBL)のシナリオを新たに作成しました。

在宅チーム医療教育では、「患者の語り Narrative (ナラティブ)」を重視する「Narrative-based Medicine (NBM)」の習得を目的とし、低学年では患者・家族の立場から、高学年では医療者の立場から治療・ケアプランを立案できることを目指します。

シナリオにある程度のリアリティを持たせながらも、到達目標に沿うシナリオを作成することは毎回頭の痛い作業ですが、他科の先生方から多くの刺激や知識を得る良い機会となっており毎回勉強になっております。ワークショップ終了後も同じメンバーで議論を続け、丁寧にシナリオを仕上げたいと思います。



PBLファシリテーター養成ワークショップに参加しました

歯科理工学部門 池田 祐子

8月25日、26日に、昭和大学富士吉田校舎にて第11回昭和大学PBLチュートリアルファシリテーター養成ワークショップが開催されました。



シナリオ作成ワークショップが同時に開催されたため、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・富士吉田教育部から総勢43名が、まだ暑さの残る富士吉田校舎に集まりました。開会式では円座となって自己紹介を行い、昭和大学宣言を行った後、各コースに分かれ2日間にわたる日程が開始しました。

ファシリテーター養成コースでは、PBLチュートリアルとは何か?というところから始まり、昭和大学の教育課程でPBLチュートリアルを行う意義、医療人として必要なことは?など小口理事長の講話を拝聴しながら学んでいきました。その後、実際にPBLチュートリアルはどのように進めていくのか、ファシリテーターとし

て教員はどのように関わっていくのかということを実体験しました。ファシリテーターを務めてくださった小倉先生、刑部先生、猪俣先生の助けにより2日間を終了した時は、ほっとすると同時に、自分はこのように的確に接することが出来るのだろうかと不安になりましたが、この経験を生かしていけたらと今は思います。

旗の台1丁目町会祭禮に参加しました

学生課 石崎 兼司

毎年9月の第2日曜日に行われる、旗岡八幡神社の例祭日に合わせ、今年も9月10日(土)・11日(日)の両日に旗の台1丁目町会の祭禮が開催されました。歯学部からは、教育職員2名、臨床研修歯科医1名、歯学部学生18名の合計21名が参加し、町会の方々と御神輿を担いで旗の台キャンパスのある旗の台1丁目を練り歩きました。



初日の土曜日は天候にも恵まれ、絶好の御神輿日和となりましたが、二日目の日曜日はあいにくの天候となり、一部御神輿の経路が短縮されましたが、両日とも無事に終了しました。

歯学部以外にも、医学部・薬学部・保健医療学部・医学部附属看護専門学校の学生も多数参加し、昭和大学と町会の方々との懇親を深める良い機会となりました。

第48回全日本歯科学生総合体育大会が開催されました

歯学部学生部長 上條竜太郎

全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)は日本の全ての歯学部が参加する歯学生のスポーツの祭典です。大半の競技は夏季に行われますが、ラグビーフットボール、スキー、アメリカンフットボールは冬季開催となり、夏の大会に先駆けて行われます。現在の夏季開催種目数は23で、規約に従って、各競技部門ごとに優勝校から順に得点を与え、夏季・冬季の合計得点の多寡で総合優勝校を決定します。

今年度のオールデンタルは通算で第48回となり、東京医科歯科大学歯学部の事務主管のもとで開催されました。総合優勝は愛知学院大学歯学部で、総合閉会式で優勝旗・優勝杯(ともに持ち回り)をもって表彰されました。

本学歯学部からは240名が15部門に参加し、総合成績第10位と健闘致しました(昨年度も10位)。本学学生がオールデンタルを通じて心身の健全な発達を獲得し、自己責任、克己心やフェアプレーの精神を培うとともに、仲間や指導者との交流を通じて、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むことを期待します。

オールデンタル男子団体戦で準優勝しました

歯学部4年 天野 恭佑

第48回オールデンタルバドミントン部門は8月8日～8月11日にかけて熊谷市で開催されました。男子団体戦は参加校全25校中、準優勝、個人戦はシングルス準優勝、ダブルス優勝、ベスト4という好成績を残すことができました。大会直前の夏合宿では、各自が課題を持って練習に取り組み、互いにアドバイスや励まし合い、モチベーションを高めて練習を頑張りました。そして合宿の成果や誰一人として諦めずにプレーをした結果このような素晴らしい成績に繋がりました。今大会、素晴らしい仲間と多くの感動を共有できたのは、応援してくださった諸先生方、OB、OGならびに関係者の皆さまのおかげです。有難うございました。これからもご声援よろしくお願い致します。



オールデンタル団体戦で準優勝しました

歯学部4年 齋藤 彩

8月6日・7日に大森スポーツセンターにて行われた、第48回オールデンタル剣道部門公式団体戦において準優勝しました。また、個人戦において菊池繁仁(歯2)が弐段以上の部第3位、大澤昂史(歯6)が優秀選手賞を受賞しました。団体戦では予選リーグを1位通過し準々決勝、準決勝ともに代表戦までもつれ込みながらもチーム一丸となって挑み決勝へ。決勝戦では岩手医科大学にあと一歩及ばず優勝を逃し悔しい思いもしましたが、チームのために全員が全力を尽くしたとても思い出深い試合となりました。個人戦では惜しくも敗退する試合が多く、1本の大切さを感じました。この悔しさと経験を活かし、来年はさらに良い結果を残せるように精一杯努力をしております。



オールデンタル女子団体戦で準優勝しました

歯学部4年 寺内 晴香

歯学部卓球部は8月4日～6日に、大阪府の岸和田市総合体育館で行われた第48回全日本歯科学生総合体育大会卓球部門に参加し、女子団体戦で準優勝をすることができました。予選リーグは一位通過し決勝トーナメントに進み、決勝トーナメントでは東北大学に3-2、新潟大学に3-2で勝利しました。決勝戦は愛知学院大学と対戦し、1-3で惜しくも敗れ、準優勝となりました。選手ひとりひとりが試合に尽力したこと、またOB、OGの先生方からいただいたご指導や応援のお言葉によりこのような素晴らしい結果を残すことができました。決勝戦で敗北したことは悔いが残りますが、今回の結果を反省することでさらに成長できる機会を得ることができました。これからも現状に満足せず、今回以上の結果を残せるよう努めて参りますので、ご支援、ご声援のほどよろしくお願い致します。応援ありがとうございました。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

- ・10月3日:大学院秋季入学式
- ・10月7日・8日・9日:旗が岡祭
- ・10月8日・9日:いぶき祭
- ・10月8日:4学部合同入試説明会
- ・10月9日:進学相談会(子女向け)
- ・10月15日:父兄会秋季部会
- ・10月18日:解剖慰霊祭
- ・10月25日:歯科医師臨床研修マッチング結果発表

認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医
弘中祥司(口腔衛生学部門 教授)
石川健太郎(口腔衛生学部門 講師)

編集後記

歯周病学講座 滝口 尚

今年の十五夜は、秋の長雨も一休みして、オレンジ色のスーパームーンを眺めながら家族と散歩に出かけてみました。ご寄稿下さいました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。